

# ヒーローショーを上演

## 子どもに食の大切さを伝える

### 美作大学



美作大学（岡山県津山市）の生活科学部児童学科4年次の有志学生3人が幼稚園等でヒーローショーを上演した。上演は2月に3回、地域の幼稚園、保育所で行われた。劇はJAつやま（同）のオリジナルキャラクターで、「管内の食と農を守る正義のヒーロー!!」の「JA戦士シャイノ」になりきり、子どもに食の大切さなどを伝えた。衣装も同団体から借り、本格的な劇となつた。

子どもは夢中になつて劇を鑑賞しており、舞台上に熱視線を送っていた。悪役のガザガインが登場したシーンでは泣き出でてしまふ子どもがい

た。しかし、シャインが戦う迫力のあるシーンでは子どもたちが一丸となつてシャインを応援し、会場は割れんばかりの声援に包まれていた。

最後のシーンでシャインは「早寝、早起き、朝ご飯が大事」というメッセージを送り、子どもたちに多くの笑顔を残してヒーローショーは幕を閉じた。

出演した末延天河さん（高知県立岡豊高等学校出身）は「ヒーローであるシャインを演じることで、経験したことのないくらいの歓声を浴びたり、子どもたちに夢を与えたひと、貴重な体験となりました。また、こうした形での教育方法もあるのだと勉強になりました。改めて自分でも「早寝・早起き・朝ごはん」の生活習慣を見直したいと思います」と、子どもたちの笑顔に喜びを感じていた。

悪役のガザガインを演じた藤井笑希さん（広島県立神辺旭高等学校出身）は「劇中で規則正しい生活をしない子どもたちは、悪の仲間入りだ」というセリフを口にした時は、多くの子どもたちが泣き出しました。このヒーローショーをきっかけに生活習慣

を整えることの大切さが伝わり、子どもたちが日頃の生活を見直してくれたら嬉しく思います」と、手ごたえを感じている様子だった。

貴大さん（岡山県立津山高等学校出身）は「初めての経験でしたが、子どもたちに喜んでもらえて良かつたと思ってます。劇の内容も子どもたちにとって良い影響を与えるものだったため、家庭に持ち

ります。劇の内容も子どもたちとふれ合い、間近で接する機会を用意している。同学科での学修が確かな力を持つた保育・教育者への近道となつていています。

同学科では学内での講義のほかにも、多岐にわたるボランティア活動や地域のスポーツ教室、小学校などで子どもたちとふれ合い、間近で接する機会を用意している。同学科での学修が確かな力を持つた保育・教育者への近道となつていています。